



諫早市立上山小学校 創立60周年記念誌

創立60周年をむかえて

校長 立山 大喜

昭和35年(1960年)4月1日に誕生した上山小学校は、今年度、創立60周年を迎えました。昭和35年という高度経済成長真っ只中であり、日本中が高揚感に満ちあふれていた時代です。上山小も開校当初、千人を超える児童が在籍しており、活気にあふれた雰囲気であつたことは想像に難くないところです。開校と同時に発足した育友会も、ことあるごとに学校施設の充実や環境整備などで支えていただきました。また地域の方も後方支援という形であらゆる角度から力を貸していただきました。学校を支える、応援するという気運は、この60年変わらず、今も良き伝統として引き継がれておりますことに感謝いたします。

60年といえば、人間でいうところの還暦にあたり、生まれた時に還るという意味があるそうです。子どもを取り巻く環境は、60年前とはずいぶん変わりましたが、保護者から信頼される学校、地域から応援される学校でありたいという学校としての変わらぬ願いを改めて確認しながら、令和という新しい時代に即応した子どもを育て、社会や地域に貢献できる人づくりに努めてまいりたいと思います。

今後も育友会の皆様、地域の皆様のご支援を賜りながら、次のステップ、次の時代の上山小学校を創り上げていくことをお誓い申し上げます、あいさついたします。



「世界へそして宇宙へ」～Into the universe～

≡ 創立60周年に合わせて、≡
 上山小学校では3つのものをリニューアルしました。

体操服



3代目になります。校章には「上山小の子どもたちが、将来宇宙にはばたく人間として育ててほしい」という野崎担良先生の思いが込められています。今回はその思いを忘れないように校章を胸に入れたデザインに変更しました。

小体連ユニフォーム



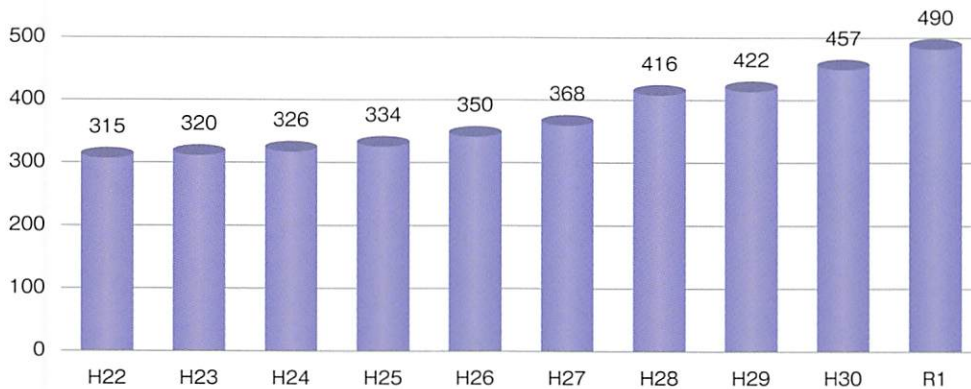
スクールカラーであるバイオレット(すみれ色)を基調にしてリニューアルしました。本校ではこの色のことを「プライドバイオレット」と呼んでいます。小体連では、母校の誇りをこのユニフォームに込めて競技に挑みます。

法被



ユニフォーム同様、バイオレット(すみれ色)を基調としたデザインにしました。伝統的な市松模様を入れ、袖の一部は折り返すと赤色になります。バックの文字は侍文字になります。また、裏に「ひょうたん」の絵が隠されています。

10年間の児童数の移り変わり



上山小学校校歌

風木雲太朗 作詞
 山口 健作 作曲

一 風かおる みどりの大地

ふるさとの めぐみゆたかに
 われらのはあゆむ 光の道を

上山 上山 我らが母校

二 雲ながる あおい山脈

多良岳の 理想は高く
 われらはずすむ 学びの道を

上山 上山 我らが母校

三 日に月に ひらけゆく海

有明の 希望あかるく
 われらは生きる まことの道を

上山 上山 我らが母校